



## コロナと気候保護

晴れた日にはいつ空を見上げててもあった飛行機雲を、見かけなくなった。列車は減便され、車の移動も減った。ベネチアの運河がきれいになったと聞く。これまで人間がいかに汚してきたのかがわかる。

ドイツでも新型コロナウイルスにより、日常が一変した。3月16日からの都市封鎖は4月20日から段階的に解除され始めた。まず小規模小売店が営業を再開し、図書館や博物館、美容院が開き、学校も一部の学年が通い始めた。5月11日からはレストランやカフェが開店。もともと散歩やジョギングは許されていたが、他人と会うときは1.5メートル以上間隔を取り、家族以外とは一度5人までしか会ってはいけない(5月初めまでは1人だった)。

老人ホームでの面会は禁止で、他人を自宅に呼ぶことも許されない。ホテルは観光客の宿泊禁止により、ビジネス客で細々つなぐ。小売店や路面電車でマスク着用が義務化され、生まれて初めてマスクをした人も多いだろう。欧州ではマスクは重病者のものという認識だったためこれまで街で見たことがなかったが、今ではカラフルな布マスクが日常の一部になった。

友人たちの反応は様々である。しっかり者だと思っていた人が家にこもり、

世界の感染者数に一喜一憂するようになった(自分には直接関係ないのにね)。一方、フリーランスで仕事の依頼はなくなっただけ「ストレスを極力減らして子どもとの時間を楽しもう」と考え、実際に楽しんでいる人もいる。

教師のカレンは文書の処理など仕事が増えたと嘆くが「できない子に合わせるのが通常授業では大変だったけど、家庭学習ならそれぞれ自分のペースで勉強できるからいい」と肯定的だ。基本的に親は子どもの勉強を見る必要はなく、わからないことは生徒が先生にメールか電話で尋ねる。

小売店で働くアンナは休業により手取り給与の60%を受給したが「6割は少ない。時間があっても何していいやら。仕事してる方がよっぽどまし」と不満をいっていた。しかし6週間経って店舗再開となると「ヨガをしたり、せっかく自分のペースができてきたのに今更仕事なんて」と文句をいう。

ちなみに店舗閉鎖やマスク着用などの規則は法的なもので、違反者には数百ユーロの罰金がある。その分、小規模事業者には経費をカバーする返済不要の給付金があり、中規模以上は融資が用意されている。仕事が減った社員(パートを含む)は減収分の60%(子なし)または67%(子あり)を最大1年受給できる。

グreta・トゥーンベリによる気候保護運動の高まりで、ドイツでは飛行機の利用は「恥」であり、減らすべきといわれてきたが実現しなかった。しかしコロナによりあっさり現実に。また、ディーゼルが大気汚染の原因だとされてきたが、使用が減った今、大気成分には変化がないこともわかってきた。

コロナには全力をあげて即対処するのになぜ気候保護にはできないのだろうか。それはコロナの被害は目に見えるからだろう。テレビで感染者の様子がわかり、原因と結果が短期的である。

一方、気候保護は統計であり、洪水や猛暑が頻発しているとはいえ長期的な変化を理解する必要がある。さらに興味深いのは、気候保護は未来ある「若者のことを考えよう」であり、コロナは感染したら生死にかかわる「お年寄りのことを考えよう」であること。

対照的かつ甚大な二つの危機に、人類は直面している。宇宙物理学者のハーラルド・レッシュは「これまでのやり方ではいけないと気づくチャンス。近くの人を助けることで、世界は再生する」と呼びかけている。まさにその通りだと思う。焦らず、冷静に、身近な人に心を配ることから始めたい。

ごみかんドイツ特派員 田口理穂

### AKIRA の 成長記録

新型コロナウイルスの影響で2週間前倒しとなり、3月16日から4月14日まで春休みでした。基本的に長期休みに宿題はないので、その間の課題はしてもしなくてもよいという位置付けでした(明は半分もしなかった)。その後、授業の代替として自宅学習が義務になりました。市の学校サイトに登録し、週初めに課題をダウンロード。金曜日午後先生にメールで送ります。質問がある場合はメールか、平日の決められた時間に電話します。例えば英語の先生は9時から、物理の先生は13時からそれぞれ1時間という具合。

授業と同じくドイツ語、英語、数学など主要教科は週3



時間程度の勉強量で、他教科はその半分ぐらい。美術は漫画を描くこと、体育はボール3つのジャグリングを毎日10分。フランス語の単語練習は携帯アプリでします。通学は7年生の明は5月25日からで、1クラスを半分に分け15人ずつ一日おきに行きます。

今は朝寝坊し、宿題を後伸ばしにし、プログラミングしたり、週に4冊小説を読んだり、ハリーポッターをピアノで練習したり、パンケーキを焼いたり、ドイツ語で漫画「探偵コナン」を大量に読んだり「けっこう楽しい」と気の向くままやっています。こんな生活でいいのかと思うけど、これも今だけ。私も通訳仕事が軒並みキャンセルになったので、明とボール遊びしたり本を読んだり、一緒にの時間を楽しんでいます。